

コンテスト委員会及びログ提出者コメントのまとめ

1. コンテスト委員会からのコメント

- ・コンテスト当日はハイバンドが開けてコンディションに恵まれたこと、今回から点数に関係なくログ提出局には抽選で景品を贈呈することとしたなどが影響したのか、342局に至る多数の有効ログの提出があった。
- ・ログは JARL 主催コンテストの電子ログ (R1.0) 使用を推奨したが、大半の局が応じていただき助かった。
- ・規約には送信出力 100W を超える局はマルチオペとするとしているが、守らない局が多数あり、コンテスト委員会でマルチオペに変更して処理した。
- ・ログは添付ファイルにしないように規約でお願いしているが守らない局が数局あった。
- ・同じログを何回も送付する局があつて困惑した。電子ログ提出局には全局に受理メールを出したが、手動で返信しているため即時返信は困難なことを理解願いたい。

2. ログ提出者からのコメント(集約)

- ・午後から 21 メガや 28 メガが開けてきて、エキサイティングでした。楽しめました。集計ご苦労さまです。
- ・お昼近くからハイバンドが開け、ベランダアンテナでもたくさん交信できてとても楽しめました。
- ・3年ぶりの参加でした。コンディションも比較的良好、多くの局と QSO 出来たので良かったです。
- ・集計ご苦労さまです。外は新型コロナウイルスの感染が拡大していますが、自宅で楽しくワッチと交信ができました。
- ・不安定なコンディションでしたが、QRP でも楽しく参加することができました。
- ・屋根の上に設置したモバイルホイップで頑張りました。念願の 9 エリアと繋がりました。感謝です。各局 QSO ありがとうございます。
- ・23日は、大好きな 21 MHz をひたすら聞いていましたら、強く入管する時間も有りました。6各局ありがとうございます。
- ・JCC JCG 未交信場所をねらって参加しました。盛況で楽しかったです

- ・九州全県にしては参加局が少ない又はコンディションはよくなかった。
- ・コンテスト参加局が少なく交信に苦労をします。
- ・全体的にコンディション不良の上、100(W)運用の非力さが手伝って、呼び負けしてば

かりでストレスが溜まりました。

- ・まったく九州の局きこえず。4.局のみですが参加。
- ・上のバンドが全く開けませんでした。
- ・highband は聞こえるのですがなかなか繋がりませんでした。
- ・144MHz バンドの参加局は非常に少なく、やはり HF しか、人気がないのかな？
- ・東京 UHF と重なり制約大でした。

・100W を超えて参加した局はマルチオペ部門とする・・・という規定は理解に苦しみま
す。単純に失格とする規定とすべきではないでしょうか。

・第 36 回（2015 年）の規約から「QRP 及びニューカマーについてはシングルオペであ
れば参加部門に関係なく、別途得点の多い局から順位を決め、参加局数に応じて入賞と
する。」とされていましたが、

今年から QRP 及びニューカマーは参加部門として設定されています。ルール変更された
理由が分かりません。

そのような要望があったのか、少なくともコンテスト委員会で協議された結果だと思
いますが、来年は元に戻されるよう要望します。

- ・ QRP 2.5W 部門併設希望。
- ・規約を変更した時は、規約のトップにその旨を記すなどして注意喚起して欲しい。